

学校・家庭・地域が「十五の春」に責任を共有する風土づくり

大阪府河内長野市	● 活動名	● 関係する学校名
	河内長野市学校運営協議会連絡会議	河内長野市内小学校 13 校、中学校 7 校

設置年度	平成 24 年度	学級数	18 学級	児童・生徒数	604 人
学校運営協議会の委員数	15 人	学校運営協議員の属性	学校支援コーディネーター 青少年健全育成会 PTA 会長など		
地域学校協働本部との連携・協働体制の有無	有				
参考 URL					

● 体制図



● 連絡先	河内長野市教育委員会事務局教育指導課	☎ 0721-53-1111
-------	--------------------	----------------

● 活動の概要・経緯

河内長野市では、平成 15 年度より学校・PTA・地域の団体が連携して土曜日の子供の豊かな体験活動を行う「楽習室」を実施する等、従来から学校・家庭・地域が連携・協働した取組みを進めてきた。平成 20 年度より各中学校区で学校支援地域本部を立ち上げ、その成果を基盤に、平成 24 年度より全小学校区で学校運営協議会を立ち上げた。教育の課題や目標を地域と学校が共有し、地域総ぐるみでの取組みを進めている。また、中学校区の学校支援コーディネーターが各小学校の学校運営協議会の委員になる等、学校運営協議会と学校支援活動が一体となって取り組んでいる。近年は中学校区の小・中学校合同の学校運営協議会も開催するなど 9 年間の連続した子供の育ちを支える活動となっている。

● 活動の特徴・工夫

【特徴的な活動内容】

郷土を学び、郷土に誇りを持つ子供たちを育む、河内長野市独自のカリキュラム「ふるさと学」を、全校で、地域と学校が協働して実施している。校区を地域の方と一緒に散策し地域の歴史やよさを学んだり、地域の文化財について学んだことを子供たちが地域や観光客に対して発信する「文化財子ども解説員」の取組みなど、学びによるまちづくりにつながっている。各校ともに学力向上に関する部会を設置し、放課後学習等を地域と学校が協働して実施している。また、公民館等と連携し、中学校の文化祭に地域の方の作品の展示や発表をしたり、学校だけではなく地域の文化祭となったりしている。また、地域の方が係員を担当することで、いつでも保護者や地域の方が参観することができている。警察との連携や地域の方々の参画により、公道を使って自転車の乗り方教室を実施する等、校区の実情に合わせて地域と学校が協働した多様な活動を行っている。

【実施にあたっての工夫】

- ・全体会等で各学校の実践を共有するなど、市域全体で取組みを推進している。
- ・各校ともに学校の実情に応じた部会を設置し、教職員と地域の方が一緒に課題解決に向けた取組みを行っている。
- ・コーディネーターが各小学校の学校運営協議会の委員となっているため、学校支援活動と連動した取組みができている。
- ・中学校区合同で学校運営協議会を開催することもあり、9 年間の連続した子供の育ちを支える取組みとなっている。
- ・多様な活動から、学校に関わる大人が増え、「学校・家庭・地域が責任を共有する風土」が育まれつつあり、学校を核とした地域づくりにつながっている。

● 事業を実施しての効果・成果

郷土の魅力を知り、関心を持つとともに、地域のよさを発信することができる子供たちを育成している。活動中に地域の大人と子供たちが会話を交わす場面が見られる等、多様な活動を通して地域の子供たちと大人が、顔と名前のわかる人間関係づくりができている。多様な地域の方々が活動に参画するようになり、放課後学習室の新設や図書館の開館日の拡大、人生体験を語るキャリア教育等、地域ぐるみで子供たちを育てようという様々な取組みが生まれ始めている。また、小中一貫教育も大切にしており、小中連携の「縦の糸」、学校・家庭・地域の連携である「横の糸」を交えて、9 年間の連続した子供の育ちを地域総がかりで支え、育んでいる。不登校や問題行動件数が年々減ってきており、地域総ぐるみで子供を育ててきた成果の一つである。

● その他

子ども解説員などでは、地域の良さを発信する際にタブレット型パソコンなど ICT 機器を使用して、よりわかりやすく伝えている。また、学習支援では、「東書 Web ライブラリ」の学習プリントを活用し、子供たちが取り組んだものを地域の方が答え合わせをしている。地域の方の励ましの声が子供たちの学習意欲につながっている。



子ども解説員



ボランティアの方との学習室

ポイント

校区の特色を活かしながらのふるさと学、地域の実情に合わせた自転車教室など、地域にねざした、地域の人々を思いを感じることでできる事例だと思います。